

「遠野物語」で結ばれた遠野市と調布市

東日本大震災による被災地復興のため、調布市社会福祉協議会は岩手県遠野市のNPO法人「遠野まごころネット」の協力を得、同県沿岸部の被災地各地にボランティアを派遣するなどの支援活動を行ってきた。このほど、これを機に両市の一層の協力関係を継続するため、本田敏秋遠野市長をはじめとする来賓多数を迎え「遠野・調布交流会」(4月20日、文化会館たづくり)が開催された。交流会では、両市の紹介DVD上映などのほか、わらび座による舞踊や、「遠野物語」が語り部により語られた。実は、調布市と遠野市は、この「遠野物語」を漫画化するなど遠野への強い関心を持つ名誉市民・水木しげる氏を機縁として、震災以前からすでに交流を深めることに合意していたという。

「遠野物語」とは、明治43(1910)年、遠野出身の青年佐々木喜善が語る話を、民俗学者柳田国男が簡潔な文語体でまとめ、350部ほどを自費で作った本のことである。そこには水木氏が関心を持ったであろう、山の神、里の神、家の神をはじめ、天狗、河童、雪女などの妖怪や、狼、熊、狐、馬といった動物が多く登場する119の不思議な話が書かれている。実はこの「遠野物語」の99話目には、明治29年の三陸沖地震の大津波による不思議なエピソードもある。それは佐々木喜善が生まれた土淵村助役の弟福二の話で、「福二は大津波で妻子を失すが、住まいを元の屋敷跡に作り生き残った子と共に暮らしていた。ある夜、屋外の便所に行く途中、霧の中から亡くなった妻とやはり津波で死亡した妻の元恋人の男が亡霊となって福二の前に現れた」という怪異譚である。

この東北文化の古層を残す「遠野物語」は出版後、民俗学者折口信夫ら一部学者により高く評価されたが、日本が近代化するにつれそれは忘れ去られていった。この「遠野物語」が再び復活したのは、昭和45(1970)年岩手国体実施について地元文化を観光資源として活用しようとする機運が起こったことによる。以来40年余、遠野は行政、市民ともどもこの「遠野物語」を中心とした町づくりに力をつくしてきた。そしてその結果、今日の「民話のふるさと遠野」ができあがったのである。(杉浦 俊之)

応援しよう! スポーツ in 調布

FC 東京 <戦績と試合日程(HOME)> (5月26日現在)

6勝6敗1引き分け 勝点19 7位

鹿島ディアーズ <戦績と試合日程>

トーナメント第一戦 5/12(日) vs IBM BIG BLUE 32対26で勝利

準決勝 5/26(日) vs ノジマ相模原ライズ 27対12で勝利

決勝 6/24(月) vs 富士通フロンティアーズ 19:00 @東京ドーム

ファンフェスタ2013 概要 日時:6月2日(雨天延期:6月16日)12時~

場所:鹿島柴崎グラウンド

皇風関 <五月場所(両国国技館)取り組み結果>

幕下西方32枚目で6勝1敗の成績を収めました。来場所が楽しみです。

~調布地区防犯協会・調布警察署よりお知らせ~

「母さん助けて詐欺」(振り込み詐欺の新名称)にご注意!

調布警察署管内被害状況:特殊詐欺発生件数は32件

被害総額 1億4172万8992円 (5/28現在)

警視庁管内2番目の被害額です。

皆さん詐欺に気を付けましょう!!



～FC 東京応援記～ まるで、別のチーム！！?? 中断明けに向けて再強化しよう。

5月25日、中断前の最後のゲームは鬼門のアウェイ鹿島戦だった。開始7分に李選手の先制ゴールが生まれ、その後も押し気味に試合を進め、44分には渡邊選手が見事なシュートで追加点、2-0で前半終了した。この頃には、この応援記の原稿も頭の中に嬉々として描かれていた。しかし、後半開始直後に甘い守備から1点取られ、動揺し、アウェイの雰囲気にもまれたのか、バタバタし始めて、まさかのオウンゴールで同点にされ、さらには、軽率なミスから逆転された。この間わずか20分。最後パワープレーで追いつこうと奮闘したが実らず、そのまま2-3の悔しい敗戦となった。森重選手が言っているように、『前半と後半とで、まるで違うチームになったかのようなゲームをしてしまった。』W杯最終予選&コンフェデレーションカップへの参加もあって、Jリーグはこれで中断に入る。13節時点で6勝6敗 勝ち点19で7位、いささか期待外れだ。次の試合は7月6日(土) 一か月以上あるので、この間にチームの立て直しを図ってほしい。6月4日にはA代表がブラジルW杯出場をかけてオーストラリアと戦う。我がFC東京からは権田、高橋に加えて新たに東選手も選出された。精一杯、応援しよう!! (5/26 調布のヨ一コ)

あゝシネマの街に暮らして二十年

調布シネサロンは、大映(現・角川書店)創立七〇周年を記念して、グリーンホールで映画「大映を彩った女優たち」を開催しています。五月は「源氏物語」を上映。この映画、製作は、当時「ラッパ」と言われた大物プロデューサー永田雅一、監督は「女性映画の巨匠」吉村公三郎、脚本はあの新藤兼人、監修はなんと大作家谷崎潤一郎と国文学者の池田亀鑑です。音楽は「ゴジラ」などで知られる著名な音楽家伊福部昭。そして俳優陣は、光源氏役に、日本映画史に輝く美男子長谷川一夫、藤壺役は小暮実千代、淡路の上には妖艶京マチ子ほか豪華女優陣。なかなかゴージャスな映画を観ました。

実際、調布は映画の街です。ある日、駅周辺を歩いていると、長身のかっこいい男性の後ろ姿を発見。前に回り振り返ると、館ひろし、神田正輝のお二人でした。先日は仙川の和定食屋さんに入りふと隣を見ると、上下のブルージーンズ姿も素敵なお二人のジョーニこと矢野錠さん。朝夕の出勤時には、角川大映の入口にある、大魔神、ガメラを横目に見て、京王多摩川駅へ。途中の児童公園には、日本映画株式会社の多摩川撮影所がこの地にできたことを記念して「調布映画発祥の碑」「映画俳優之碑」が、さらに女優森繁久弥氏の書で「その生涯を映画に生く」と書かれた碑もあります。ちなみに私の今の住まいはその大映撮影所の跡地にあり、ここに暮らして今年、はや二〇周年となりました。(杉浦俊之)

高橋さんの横顔

調布市民放送局の「鉄っちゃん」土佐の潮騒を子守唄に育ったものづくり大好きなA型蟹座作品を通して粘り強い人間像を撮るリトルギャラリー担当人生のテーマは「根気」鉄っちゃん大活躍の京王線地下化記録は記憶に新しい



調布を語りつづ 多摩川の鮎

鮎は一年で一生涯を終える年魚。下流域で孵化し、海に下って春を待ちます。3月、稚鮎たちは多摩川への遡上を始めます。東京都では、毎年河口から11キロ地点で遡上数の調査を行い、昨年は1千万尾を上回る鮎が遡上したと推定しています。今年は5月中旬までのデータは昨年を若干下回っていますが、昨年に迫る勢いです。江戸時代には献上鮎として、大正から昭和初期にかけては観光鮎漁と、鮎は多摩川の代名詞のような魚でした。一旦は水質悪化などから激減しましたが、平成18年以降、遡上数が100万尾超え、平成23年が783万尾と急増、復活をはたしました。ちょうど今頃、ニヶ領堰付近で跳ねる姿を観察できるかもしれません。

(郷土博物館前館長小野崎満氏寄稿)

調布市民放送局ニュースが手に入ります(順不同)

- ◆図書館(本館、分館)◆たづくり◆公民館◆調布市総合福祉センター◆深大寺◆教育会館◆ジェイコムショップ◆調布エフエム◆調布市商工会館◆地域福祉センター◆市民活動支援センター◆調布市郷土博物館◆INNO◆エリゾー◆山口酒店◆中村歯科◆東日本電気電話保守センター◆電気通信大学◆ぬくもりステーション◆多摩信用金庫調布北口支店◆みんなの広場◆布多天神社◆クッキングハウス◆せんがわ劇場◆デンマーク INN 深大寺◆デンマーク INN 調布◆山田病院◆天竜◆調布市総合体育館◆セブンイレブン(調布染地2丁目店)◆神代植物公園

スポーツ祭東京2013を市民と メディアで盛り上げよう!

人口400万人を超える東京多摩地域。地域の社会・文化・経済が発展し、生活と環境が向上していくために、多摩地域のメディアはどのような情報発信をおこない、貢献ができるでしょうか?人と人のつながりと交流を促進し、多摩地域コミュニティーの醸成と活性化に寄与するために、どんな取り組みがメディアに求められているのでしょうか?

スポーツ祭東京2013を機会に集まり、一緒に盛り上げると共に、多摩地域メディアの今後を考えてみませんか?

日時:2013年6月7日(金)18時30分~20時30分
場所:電気通信大学 創立80周年記念会館リサーチ3階
プログラム:

- ①スポーツ祭東京2013の取組みと地域メディアに期待する事(東京都スポーツ振興局スポーツ祭東京推進部)
- ②自治体のスポーツ祭東京2013推進活動事例報告
- ③多摩地域メディア事業者紹介
- ④今後の取組み案の提案
(調布市民放送局よりお知らせ)

せんがわシアター121

2月6日に上演された、リーディング劇「戦場のピクニック」の演劇版が、5月10日、初日を迎えた。

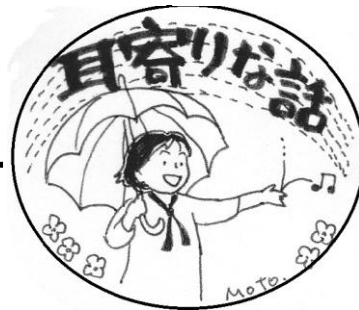
衣装も、道具も使わず演じられた朗読劇、リーディングから、どのように変化するのか楽しみに観させていただいた。自分の想像が演出家の意図と同じかどうかと、あたかも舞台づくりに参加しているような1時間弱であった。

これは、「演劇をより身近に～」というせんがわ劇場の戦略に、はまってしまったようだ。

開演は少し遅めの19:30、上演時間は1時間程度。一日の終わりに地域に住む人々が劇場に集い、気軽に演劇に触れる～ようにとのコンセプトで始まった「せんがわシアター121」、ますますせんがわの街に浸透していくことだろう。

「戦場のピクニック」6月の公演は、6月12日(水)6月26日(水)、開演は19:30です。

みなさん、お仕事帰りに、ぶら～っと、せんがわ劇場に立寄ってみては?
(chun)



深大寺の薪能で 「幽玄の世界」に浸る

5月17日(金)午後6時から深大寺境内で第21回「深大寺薪能」(主催 シダックスと深大寺)が開催され、1000人の観客が演目の「安達原(あだちがはら)」を楽しんだ。

演目の「安達原」については、二松学舎大学の松田存名誉教授のわかりやすい説明があった。ストーリーは熊野の山伏が奥州(福島県)の安達原で行き暮れ、女主(あるじ)の住む宿を訪ねることから始まる。あるじは糸を繰りながら山伏を慰めるが、やがて寒くなり、「留守中、決して閨(ねや)を見るな」と言って裏山に薪を採りに行く。

このあたりからミステリアスな展開となる。暗闇の中で篝火がぱちぱちと燃える音、地謡の声、鬼女の舞いや山伏の祈禱などが、「幽玄の世界」へと導いてくれる。見上げれば空に三日月、約1時間の舞台だったが、薪能を堪能した。(大泉 洋一)

神代植物公園 6月の行事情報

花菖蒲植付け教室

日時:6月29日(土) 午後1時30分から約1時間
場所:神代植物公園植物会館 2階 大集会室
講師:神代植物公園サービスセンター職員

参加費:無料(別途入園料が必要)

定員:30名(申込み多数の場合は抽選)

申込方法:往復はがき締切日6月15日(土)消印有効
詳しくは神代植物公園サービスセンター

☎ 042-483-2300 まで

講演会「山野草の楽しみ方」

日時:平成25年6月30日(日) 午後1時から3時(12時半より受付)

場所:植物会館2階 集会室

講師:練馬区花と緑の相談所 相談員 大菅文雄氏

参加費:無料(別途入園料が必要)

定員:50名(当日受付)

～こんなご協力をいただいています～

機材等:(株)アークシステム アツデン(株) (株)StudioDU サーバー:電気通信大学

撮影協力:(株)パルコ 調布店 イラスト:松浦素子 墨絵:高橋弘子(敬称略)

その他多くの方にご協力を頂いています。ありがとうございます!

2013年6月 番組表

< 調布市民放送局の番組を見ることができます >





- ◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」
- ◆ 調布市観光案内所『ぬくもりステーション』(一部番組のみ)

調布 C A T C H J:com 111chにて1日2回放送 (放送日時の変更あり)

月	火	水	木	金	土	日
8:55 18:55	8:55 18:55	8:55 18:55	8:55 18:55	8:55 18:55	8:25 18:55	8:25 18:55

テレビ番組

1日	①植物多様センターを知ろう！ 北ノ台小学校3年生の皆さんが多様性センターで課外授業を実施中。1回目の授業を取材 学習園内を駆巡り、何を知ったのでしょうか。	 <p>植物多様センター</p>
15日	②深大寺の模型 深大寺の客殿に展示 深大寺境内および近隣地域の精密模型が完成し、展示しています。300分の1の縮尺で忠実に作られています。 ③調布三田会 慶応義塾大学のOB・OGで結成されている三田会の様子です。懇親会の終盤は校歌斉唱で盛り上がりました。	
16日	①遠野市調布市交流会 4月20日遠野市と調布市の交流会が行われました。アトラクションとして、語り部の「河童のはなし」やわらび座の舞踊 また、岩手のお酒「どぶろく」の販売などで来場者の立ち見が出る程大盛況でした。	 <p>遠野・調布交流会</p>
30日	②リトルギャラリー -南部菱刺し(ひしさし)- 青森県八戸南部地方の農村に伝わる民芸です。模様・色それらの組み合わせによる美しさをお楽しみください。	

ラジオ番組

調布わくわくステーション(略称 わくステ)

調布FMにて放送 <83.8MHz> 毎週火曜日 21:30~21:45

4日	川向 圭一 さん Moon37island のオーナー	ダーツバー経営の川向さんは、児童養護施設で育ち、仕事で失敗できない環境にある子ども達のために、心を砕いています。
11日	大藤 恵子 さん 美容室セル の店長	調布大好き子の大藤さんに、地域の方を美しくしたい、それが元気に繋がり、街が元気になる、そんな夢をお聞きします。
18日	大山 雅子 さん 調布工芸美術協会 会長	先日行われた工芸美術展、素晴らしい作品でいっぱいでした。工芸美術の様々な魅力などを、お聞きします。
25日	会田 芳典 さん リンダルシーダーホーム	仙川にある住宅展示場、そこではいろいろな催しが開かれています。住の環境を活かした面白い企画のお話を伺います。

HP

インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp>

調布市民放送局

検索

~みんなのらじお~

次回の放送は、7月7日日曜日の夜8時からです。彦星と織り姫が年に1度だけ出会える七夕さま。テーマは“空” 皆さんにも多くの思い出などがあるのではないのでしょうか。聴いて下さいね!

編集後記 :もう梅雨入り!? 毎日眠くてだるいのはその所為(せい)だけではないのだろうが...今年の天候は不順続きで、寒暖の差が大きく、体調が付いていけない。やはり、気の持ち用だろうか、イヤ、歳の所為か?

★ご意見・ご感想をお待ちしています。➡catch@chofu-catch.sakura.ne.jp

[編集・発行]NPO 法人調布市民放送局

〒182-0022調布市国領町2-5-15、調布市民プラザあくろす2階 市民活動支援センター気付